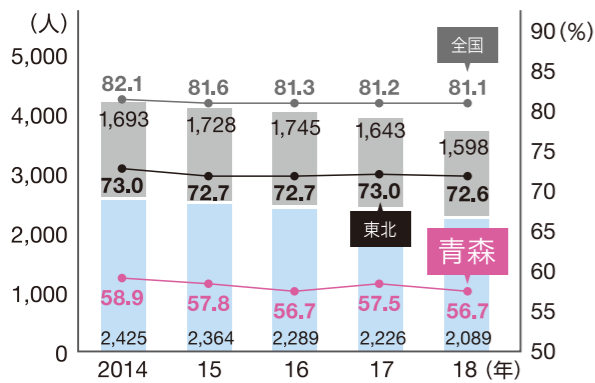


今後の大きな課題

若者・女性の県外流出

・進学や就職を契機とした若者の県外転出が人口減少の大きな要因となっています。

高等学校卒業者の就職状況

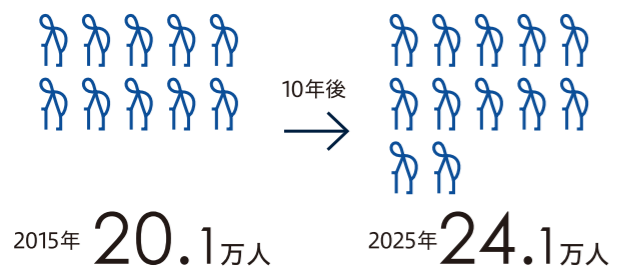


※各年3月卒。県内就職者の割合は企画調整課において算出。
※折れ線は就職者総数に占める県内就職者の割合
資料:文部科学省「学校基本調査」

2025年超高齢化時代への対応

・2025年には、団塊の世代が全て後期高齢者となり、これまでに経験したことのない超高齢化時代を迎えます。
・保健・医療・福祉体制の一層の充実、交通・買物・食事といった生活機能の維持・確保などが大きな課題です。

75歳以上の人口の推移(青森県)



平均寿命・健康寿命の延伸

本県の平均寿命は着実に伸びているが都道府県別では依然として

男女とも最下位

がんによる死亡率や、働き盛り世代(30歳～64歳)の男性の死亡率が

全国平均と比べて高い

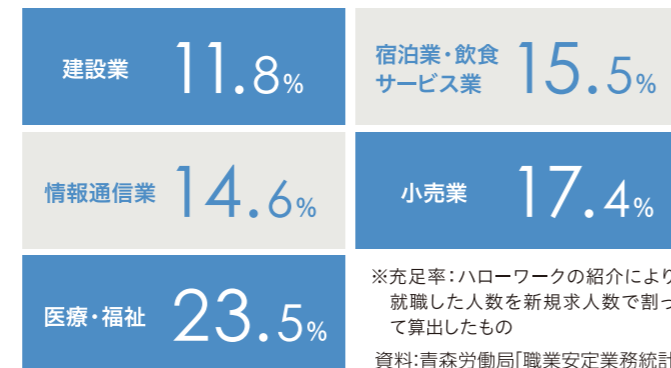
平均寿命とともに

健康寿命の延伸も重要

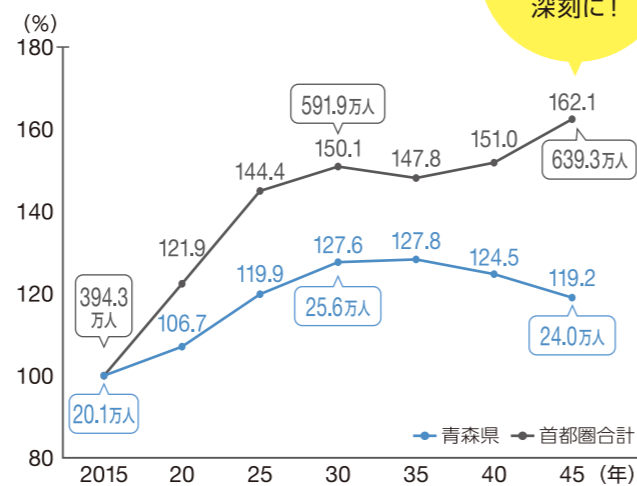
人手不足の顕在化と労働生産性の向上

・多くの産業分野で慢性的な人手不足が顕在化しています。
・労働力の適正配分と一人当たりの労働生産性を高めていくことが重要です。

産業別の充足率(2017年)



75歳以上人口(推計)の増加率(首都圏、青森県)



※首都圏:東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県 ※増加率:2015年を100とした場合の割合
資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

首都圏でも高齢化が深刻に!

今後重視していく取組の方向性

1

経済を回す

人口減少社会にあっても、県民の誰もが安心して暮らしていくことができる持続可能な地域づくりを着実に進めていくため、地域において魅力ある「しごと」をつくり、多様な雇用を生み出し、そこで生まれた収入を地域経済の中でしっかりと回していく「経済を回す」仕組みづくりを進めます。

2

世界へ打って出る
～Local to World～

グローバル化の進展やアジア諸国の経済成長を見据え、これまで以上に世界を視野に入れ、農林水産品の輸出や外国人観光客の誘致、「世界へ打って出る」意欲を持つ人財の育成、国際交流の推進などに「攻めの姿勢」で取り組みます。

3

労働力不足への対応

若者の県内定着、人財還流を促進するとともに、女性や高齢者、U/Iターン希望者などが、多様な働き方のできる環境づくりを進めます。
また、AIやIoTの活用などによる省力化や生産性の向上に取り組みます。

4

「青森県型地域共生社会」の実現

2025年の超高齢化時代を見据え、県民の誰もが、地域で生まれ、地域で育ち、地域を助け、地域で安心して老後を迎えることができる「青森県型地域共生社会」の実現をめざします。

5

県民の健康づくり

平均寿命・健康寿命の延伸に向け、県民の健康づくりに対する意識向上を図るとともに、働き盛り世代を始め各年代のライフスタイルに応じた生活習慣の改善、健診等受診率の向上などに取り組みます。

6

ふるさとあおりへの自信と誇り

県民誰もがふるさとあおりへの誇りを持ち、県外・海外に向けて、自信を持って発信していけるよう、県民の意識醸成に取り組みます。